

鉄骨造 平屋倉庫（クレーン対応） 自主施工 最終版 2.2

図面集 意匠図・構造施工図

鉄骨造平屋倉庫 新築工事（江田島市） A-00～A-06 意匠図／S-01～S-08 構造・施工図

この書類の役割

建物の形（意匠図A）と骨組みの作り方（構造施工図S）を1枚ずつ図面枠付きでまとめたもの。設計士の清書の下敷きと、鉄工所の製作図の元になる。

収録内容

- A-00 骨組み立体図・図面リスト
- A-01 配置図（ひな形）
- A-02 平面図
- A-03 立面図（4面）
- A-04 矩計図
- A-05 屋根伏図
- A-06 仕上表・建具表・設備概要
- S-01 基礎伏図・基礎断面
- S-02 柱伏図・小屋伏図
- S-03 軸組図 X1・X2通り
- S-04 軸組図 Y1・Y4通り
- S-05 柱脚・柱頭接合部詳細
- S-06 クレーン詳細
- S-07 部材製作ピース図
- S-08 アンカーボルト・テンプレート図

4冊セットの構成

- 設計・製作・施工 指示書
設計士・鉄工所へ渡す本体。条件・部材・接合・発注条件・予算
- 図面集（意匠図A・構造施工図S）
A-00～A-06、S-01～S-08 の15枚
- 図面集 付録
プレート・金物図（S-09・S-10）と別途工事一覧（A-07）
- 施工手順書・作業手順書
工程表・発注・安全・工程別手順・記録シート

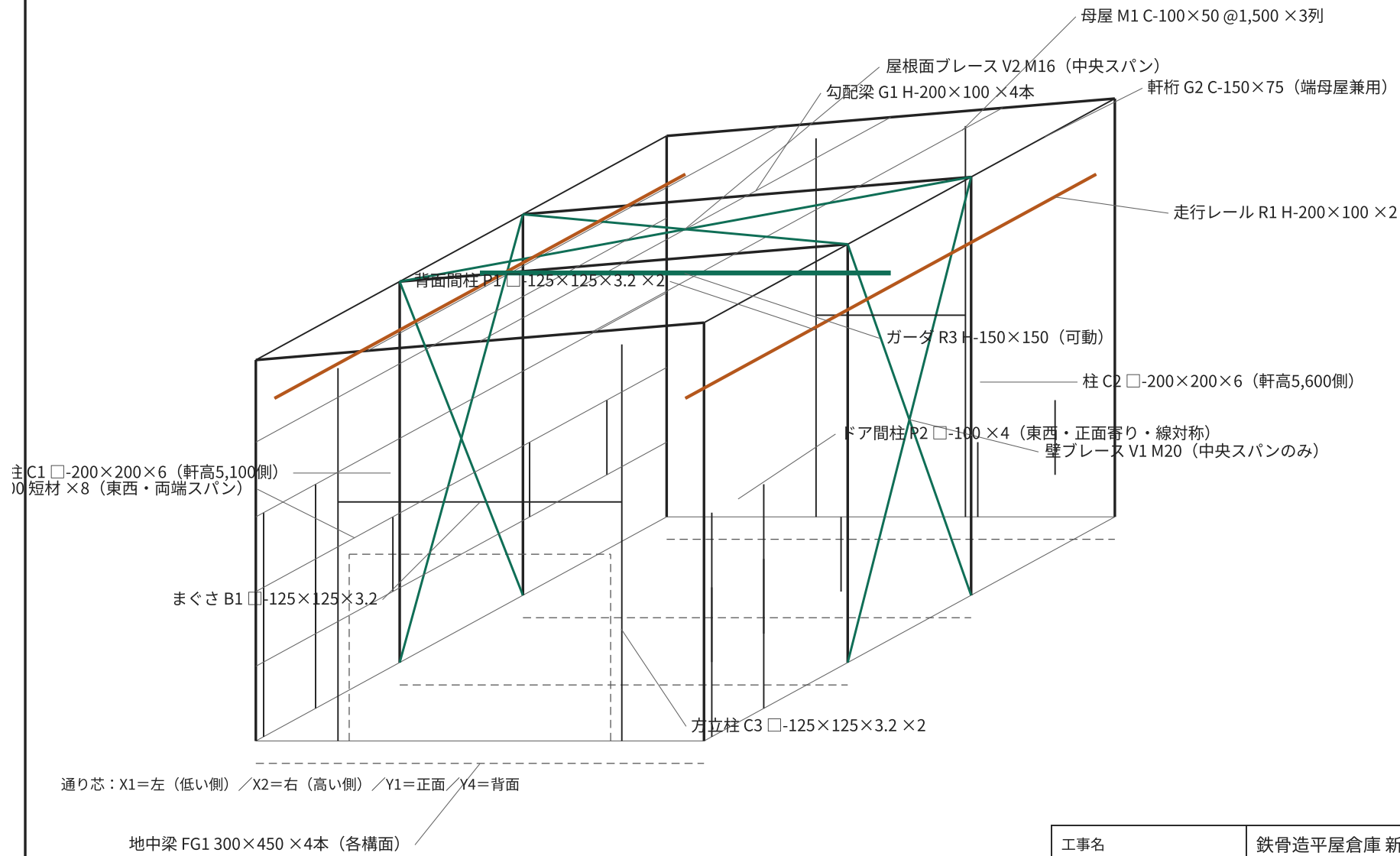
建設地：広島県江田島市（海岸沿い） 施主・施工：自社
間口6,000 × 奥行10,000 × 軒高5,100／5,600 片流れ折板屋根
露出柱脚（半固定）＋地中梁 鉄骨約4.8t 490kgクレーン対応
3Dビュー：<https://claude.ai/artifact/BXQSFTqRAbmMUZ8xxRXnNb>

本書の数値は簡易計算による計画値です。構造の最終責任は建築士の構造計算にあります。作成 2026.09.20

工事名	鉄骨造平屋倉庫 新築工事（江田島市）	
図面名	表紙	図面番号 A-00の前
縮尺	なし	2026.09.20施工計画案 最終版

骨組み立体図（鉄骨のみ・外装なし）

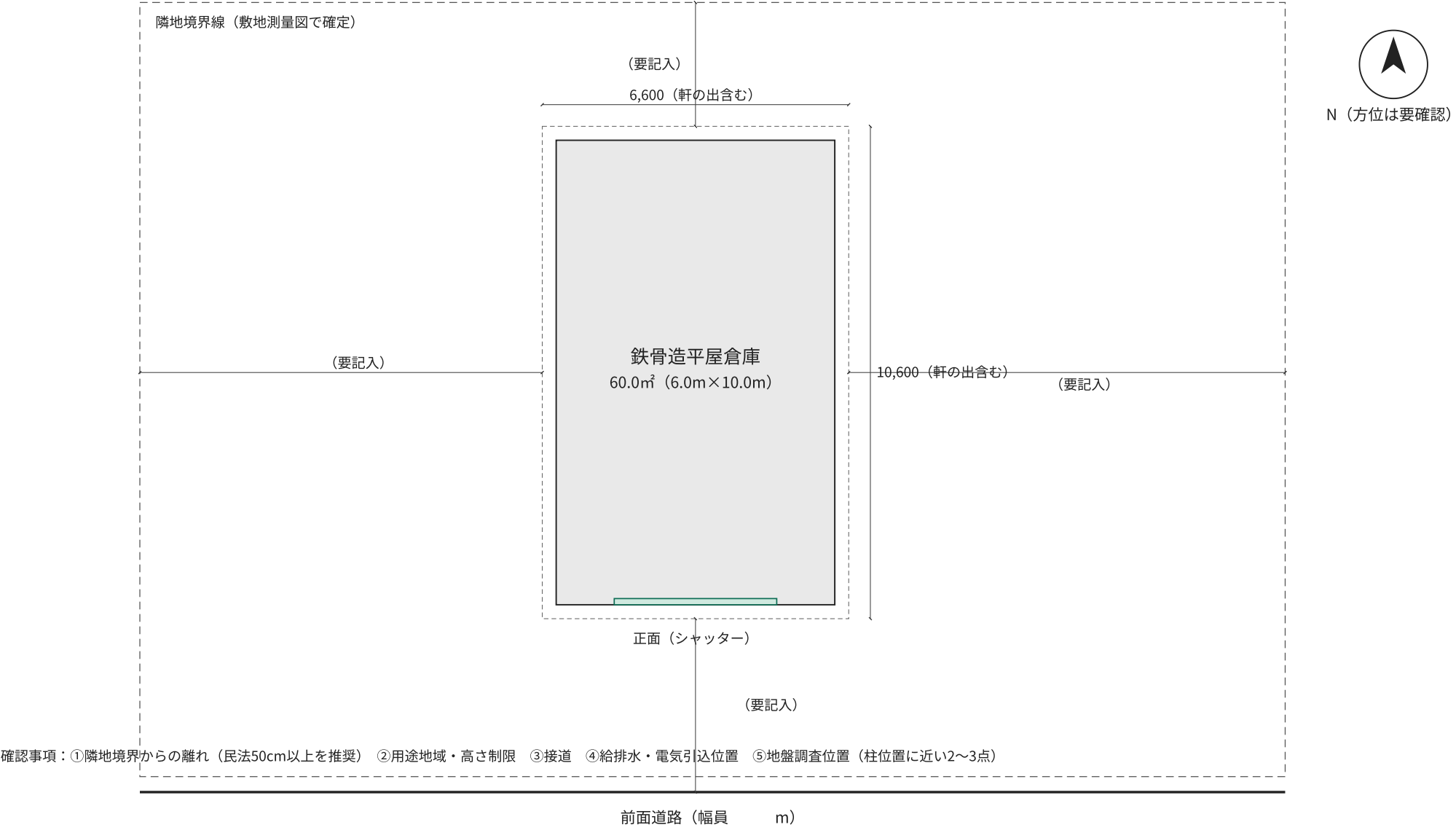
正面（Y1通り）を手前に見た斜め上からのイメージ。緑＝ブレース（中央スパン）、茶＝クレーン走行レール。開口用の間柱・ジャンプは窓・ドアを付けなくても入れる。



工事名	鉄骨造平屋倉庫 新築工事（江田島市）	
図面名	骨組み立体図・図面リスト	図面番号 A-00
縮尺	なし	2026.09.20施主計画案 最終版

配置図（敷地図確定前のひな形）

敷地境界からの離れ寸法・方位・道路幅員・高低差は、敷地測量図をもとに建築士が記入する。雨樋（軒樋）は西側（X1通り＝低い側）、たて樋はY1・Y4端部。玄関ドアは東西どちらかの正面寄り（後決め）。

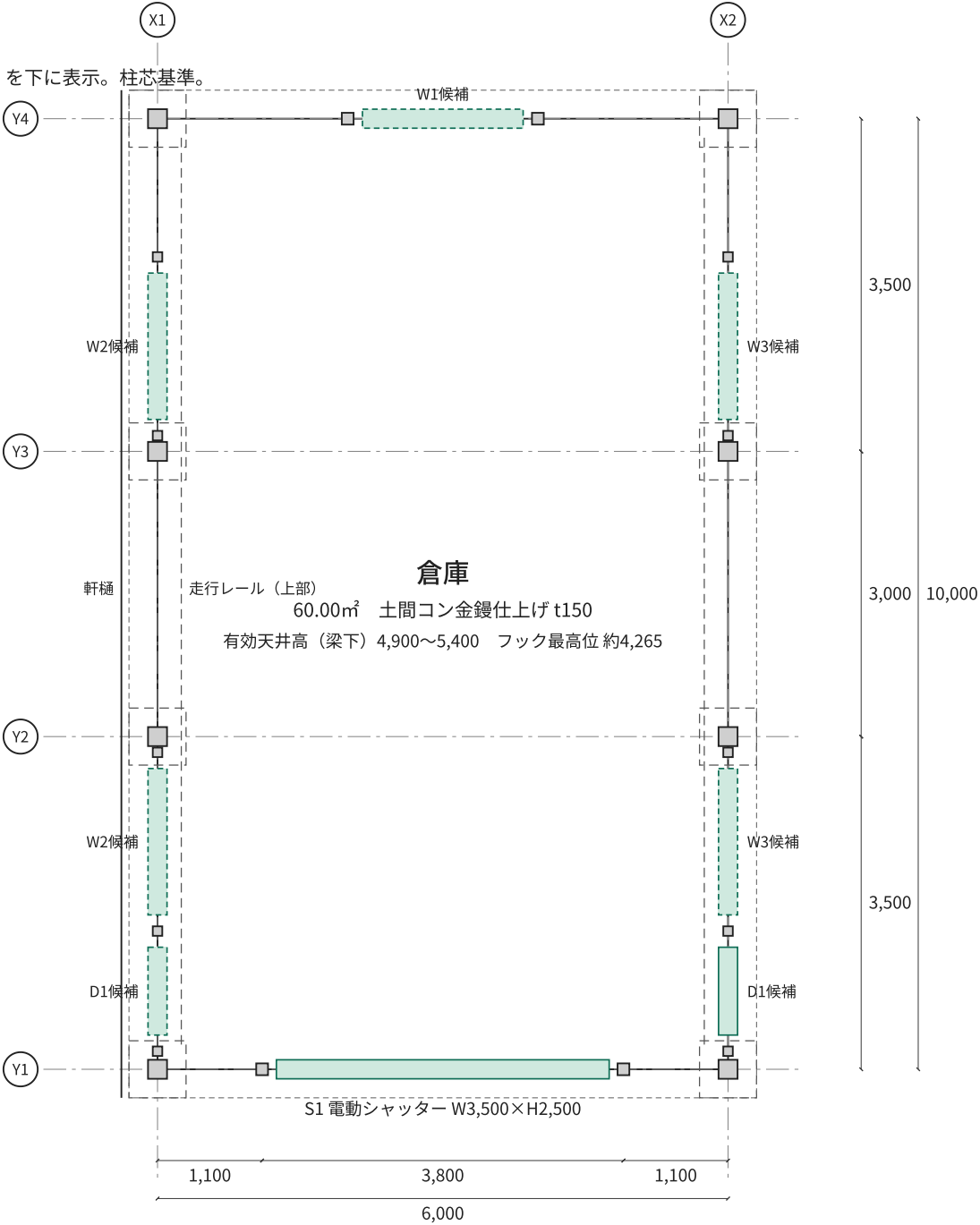


敷地情報は建築士が確定

工事名	鉄骨造平屋倉庫 新築工事（江田島市）	
図面名	配置図（ひな形）	図面番号 A-01
縮尺	1:300（記入用）	2026.09.20施工計画案 最終版

平面図

正面（シャッター）を下に表示。柱芯基準。



面積表

建築面積	60.00㎡（18.15坪）
延べ面積	60.00㎡（平屋）
最高高さ	約5.75m（軒高5,600＋屋根）

凡例

- 柱（■主柱 □-200角、▪方立・間柱 □-125角）
- 柱型 600角（土間レベル、床に出ない）
- シャッター
- クレーン走行レール（天井付近）

仕上

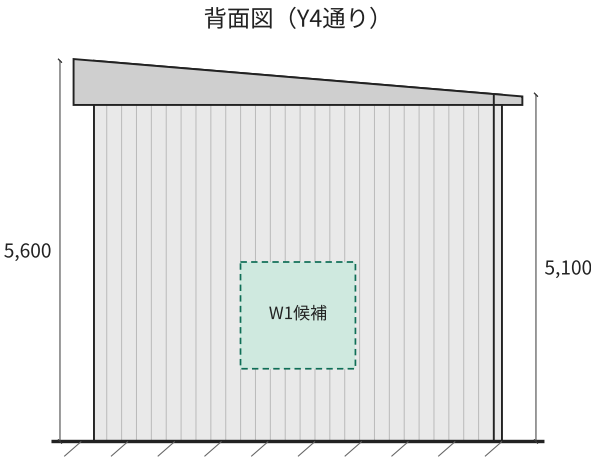
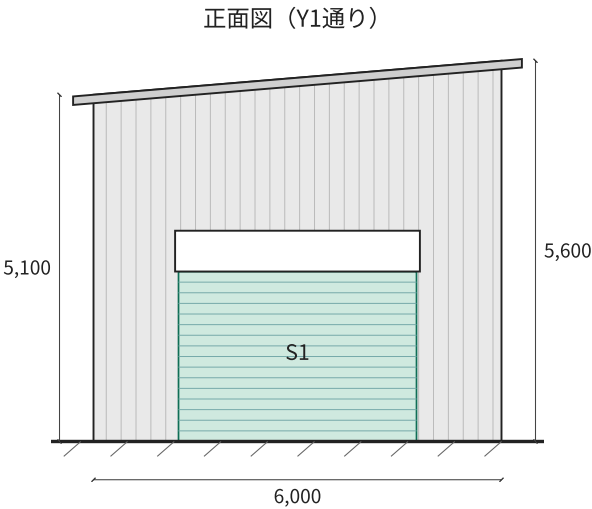
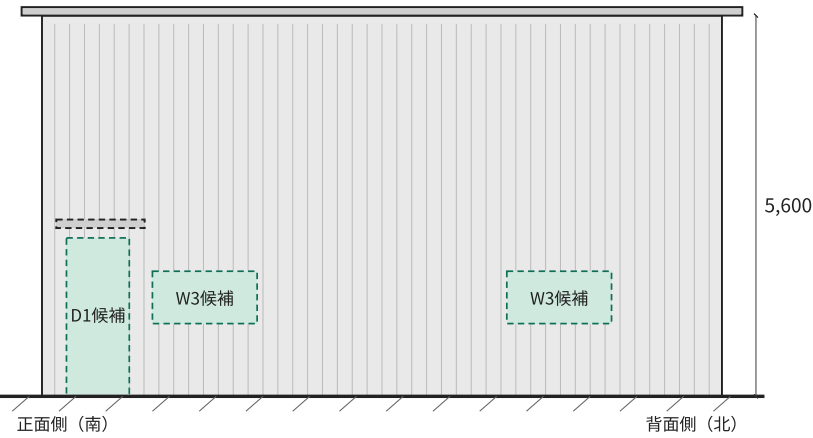
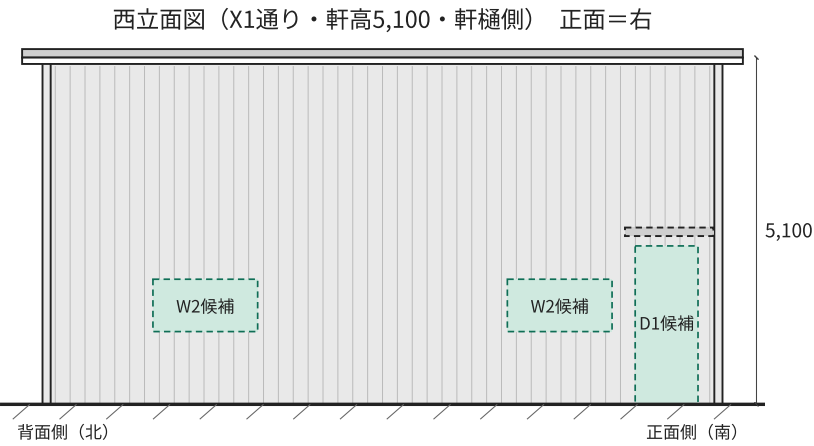
床：土間コンクリート t150 金鋳押え
壁：角波ガルバリウム鋼板 t0.35（内側 鉄骨あらわし）
天井：なし（折板裏あらわし）

開口（後決め可）：D1 玄関ドア GIESTA2 東面か西面のY1～Y2（線対称）
W2・W3 東西 TW15007（下端FL+約1,070、Y1～Y2かY3～Y4）
W1 北面 TW16515（下端FL+約1,070）
※開口用の間柱・ジャンプ・まぐさは鉄骨に含む。付けなければ外壁で塞ぐ

工事名	鉄骨造平屋倉庫 新築工事（江田島市）	
図面名	平面図	図面番号 A-02
縮尺	1:100	2026.09.20施主計画案 最終版

立面図（4面） すべて外側から見た向き

外装：角波ガルバリウム鋼板 t0.35 縦張り（シルバー） 屋根：ガルバリウム折板 88型 t0.8 軒樋：X1側（低い側） たて樋：Y1・Y4端部の2本
東立面図（X2通り・軒高5,600） 正面＝左

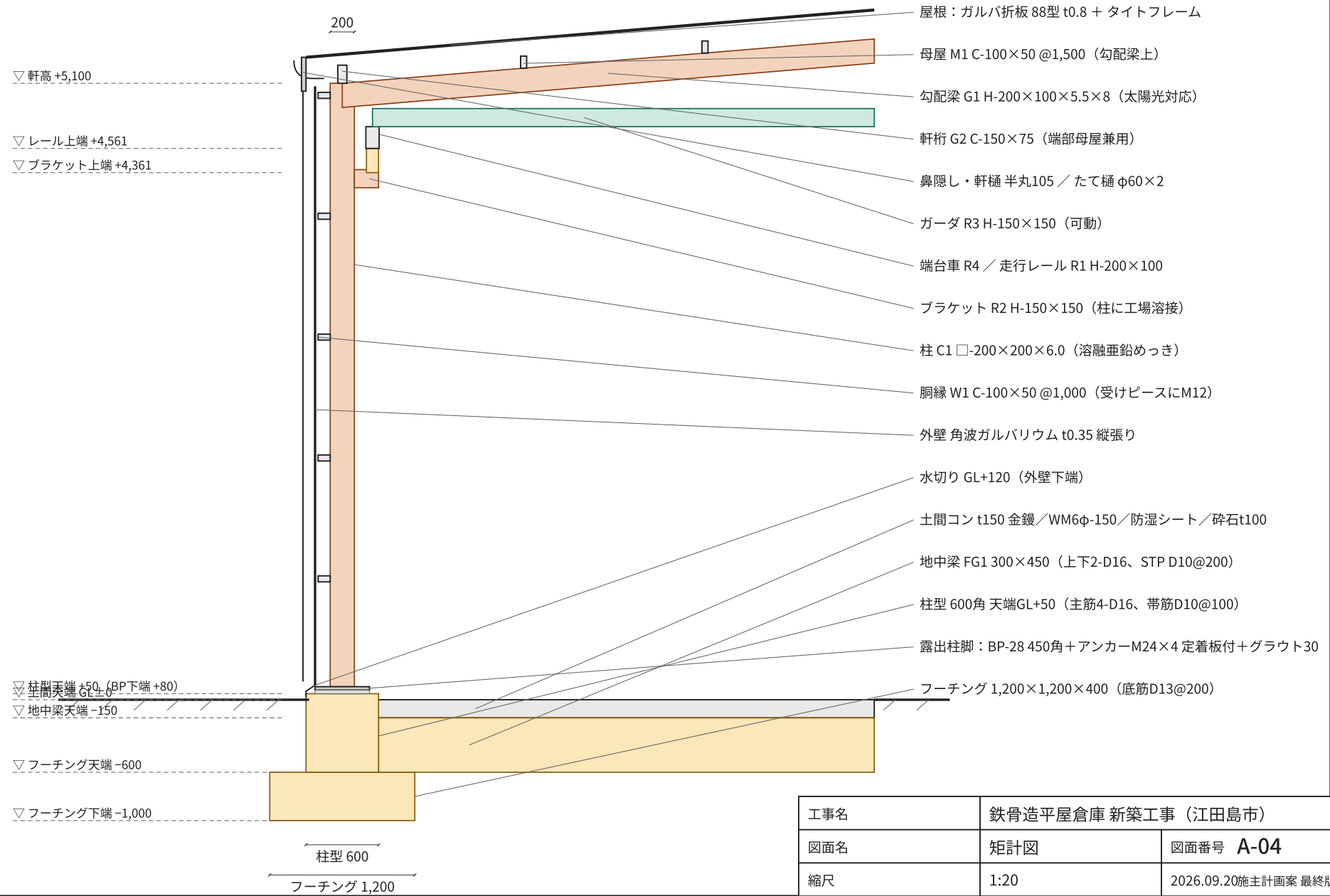


開口はすべて後決め可（鉄骨は開口前提で製作）。D1 GIESTA2 W924×H2,330 東面または西面のY1～Y2（線対称位置・どちらか1箇所）／W2・W3 TW15007 1,540×770 東西どちらのSPANでも可（胴縁1,000～2,000の間・下端FL+約1,070）

工事名	鉄骨造平屋倉庫 新築工事（江田島市）	
図面名	立面図	図面番号 A-03
縮尺	1:125	2026.09.20施主計画案 最終版

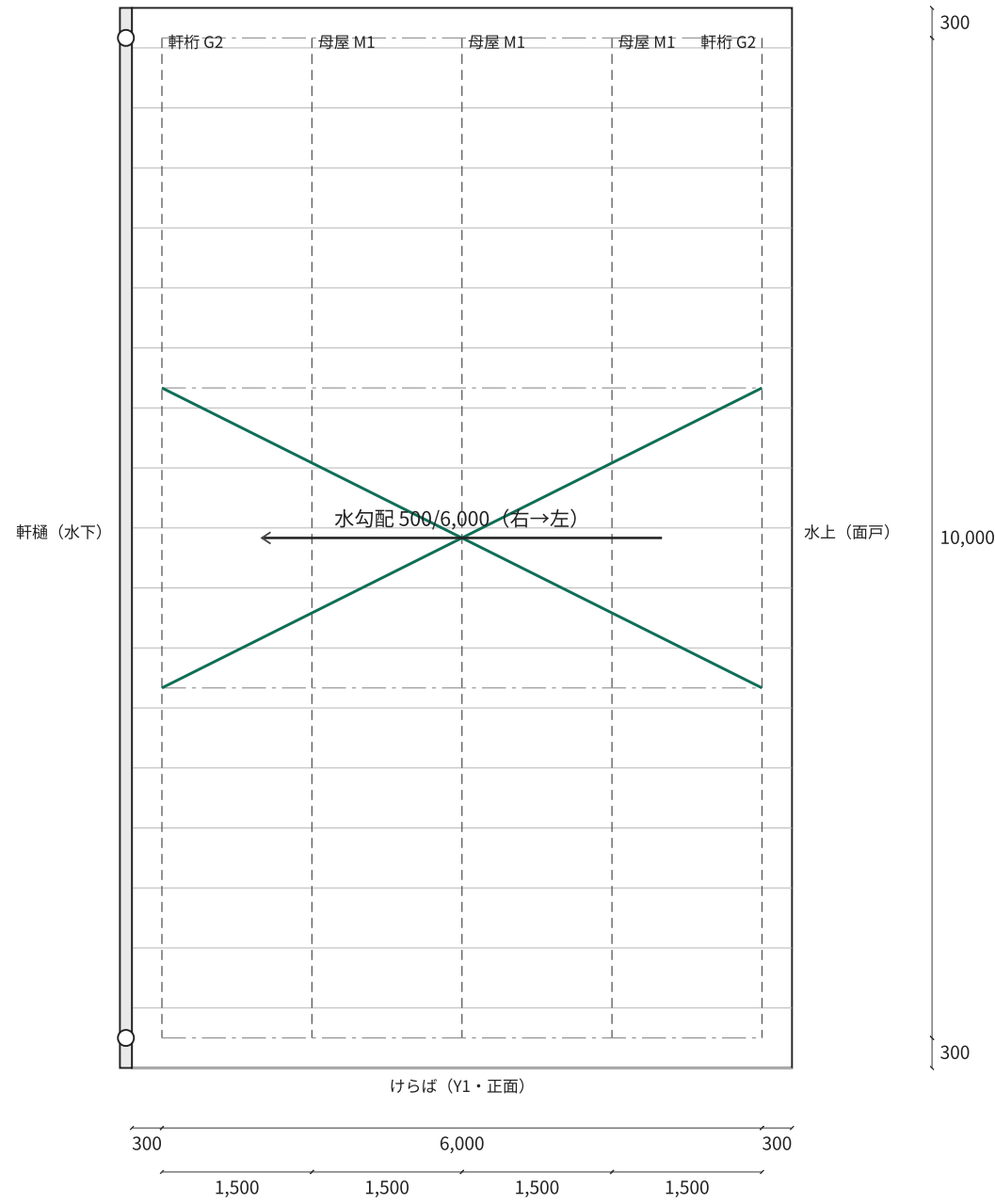
矩計図（X1通り・低い側の外壁断面）

屋根から基礎までの層構成。X2側（高い側）は柱長さや軒高が異なるだけで納まりは同じ。左＝屋外、右＝屋内。



屋根伏図

正面（Y1）を下に表示。折板は間口方向（勾配方向）に流し、母屋は奥行方向。



屋根仕様

- ・ガルバリウム鋼板 折板 88型 t0.8（嵌合式 推奨）
- ・タイトフレーム：母屋・軒桁上に連続、M8ボルト
- ・折板は6,600一枚物（継手なし）を10,600分
- ・水上面戸・水下エプロン面戸（有孔）で換気
- ・けらば包み：Y1・Y4端部
- ・軒樋：半丸105 ガルバ、X1側10.6m
- ・たて樋：φ60 ×2（Y1・Y4端）
- ・雪止め：不要（積雪30cm・海沿い）
- ・母屋 M1 C-100×50 @1,500 ×3列 + 軒桁 G2 ×2列
- ・屋根面ブレース V2 M16：中央スパン（Y2-Y3）のみ
- ・採光折板（後決め可）：入れるならY2～Y3の中央3枚、乳白

注意

- ・折板の吹上げ（隅角部）はメーカーの許容スパン表で
- ・母屋@1,500・風圧1.34kN/㎡以上で確認すること
- ・折板の固定ボルトはステンレス（塩害）
- ・面戸の有孔部から雨が吹き込むので上下段違いで
- ・ポリカ折板は重ね式が主流。嵌合式にする場合は対応品を確認

工事名	鉄骨造平屋倉庫 新築工事（江田島市）	
図面名	屋根伏図	図面番号 A-05
縮尺	1:100	2026.09.20施工計画案 最終版

外部仕上表

部位	仕上げ	備考
屋根	ガルバリウム折板 88型 t0.8 嵌合式	SGL鋼板、ボルトSUS
外壁	角波ガルバリウム鋼板 t0.35 縦張り	色：シルバー系。胴縁 C-100×50 @1,000
軒先	鼻隠し ガルバ役物、軒樋 半丸105	X1側
けらば	けらば包み ガルバ役物	Y1・Y4
水切り	ガルバ役物 GL+120	外壁下端
鉄骨	溶融亜鉛めっき HDZ55（露し）	塗装なし
基礎見え掛け	コンクリート打放し	外周のみ

内部仕上表

部位	仕上げ	備考
床	土間コンクリート t150 金鋺押え	WM6φ-150、防湿シート、砕石t100
壁	角波裏面あらわし・鉄骨あらわし	断熱なし
天井	折板裏あらわし	断熱なし（必要なら後施工でウレタン吹付）

建具表（後決め開口）

符号	D1（後決め可）	W1（後決め可）	W2・W3（後決め可）
種別	玄関ドア 片開き	引違い窓	引違い窓 ×2
メーカー・型	LIXIL GIESTA2 M14型 k2/k4	LIXIL TW 16515	LIXIL TW 15007
寸法（枠外々）	W924×H2,330	W1,690×H1,570	W1,540×H770
位置	東面または西面 Y360～1,284（正面寄り・線対称。どちらか1箇所）	北面 X2,155～3,845 下端 FL+約1,070	東西 Y1～Y2 または Y3～Y4（後決め） 下端FL+約1,070
下地	間柱P2 □-100に105角木下地。まぐさB2	間柱P1（2,000／4,000）に木下地。窓台＝GL+1,000胴縁、まぐさB2 GL+2,700	上下＝GL+1,000／2,000の胴縁、左右＝ジャンプP3 C-100。L-50×50×4鋼製下地で納める（胴縁の切欠きなし）
付属	庇 W1,200×D700、犬走り-20	網戸・面格子	網戸・面格子

建具表

符号	S1
種別	電動ガレージシャッター（アルミスラット）
メーカー・型	LIXIL 電動 W3301～3500×H2001～2500 オーダー
寸法	製品幅 W3,500 × H2,500（有効開口は要確認）
納まり	外部付 木造用壁後付 → 方立柱・まぐさに木下地（105角）を受けピースでボルト固定し取付
ボックス	S型 停電時開閉：室内側
土間	埋め込みなし（ガイドレール土間上）
電源	AC100V 専用回路、まぐさ付近に配線
数量	1

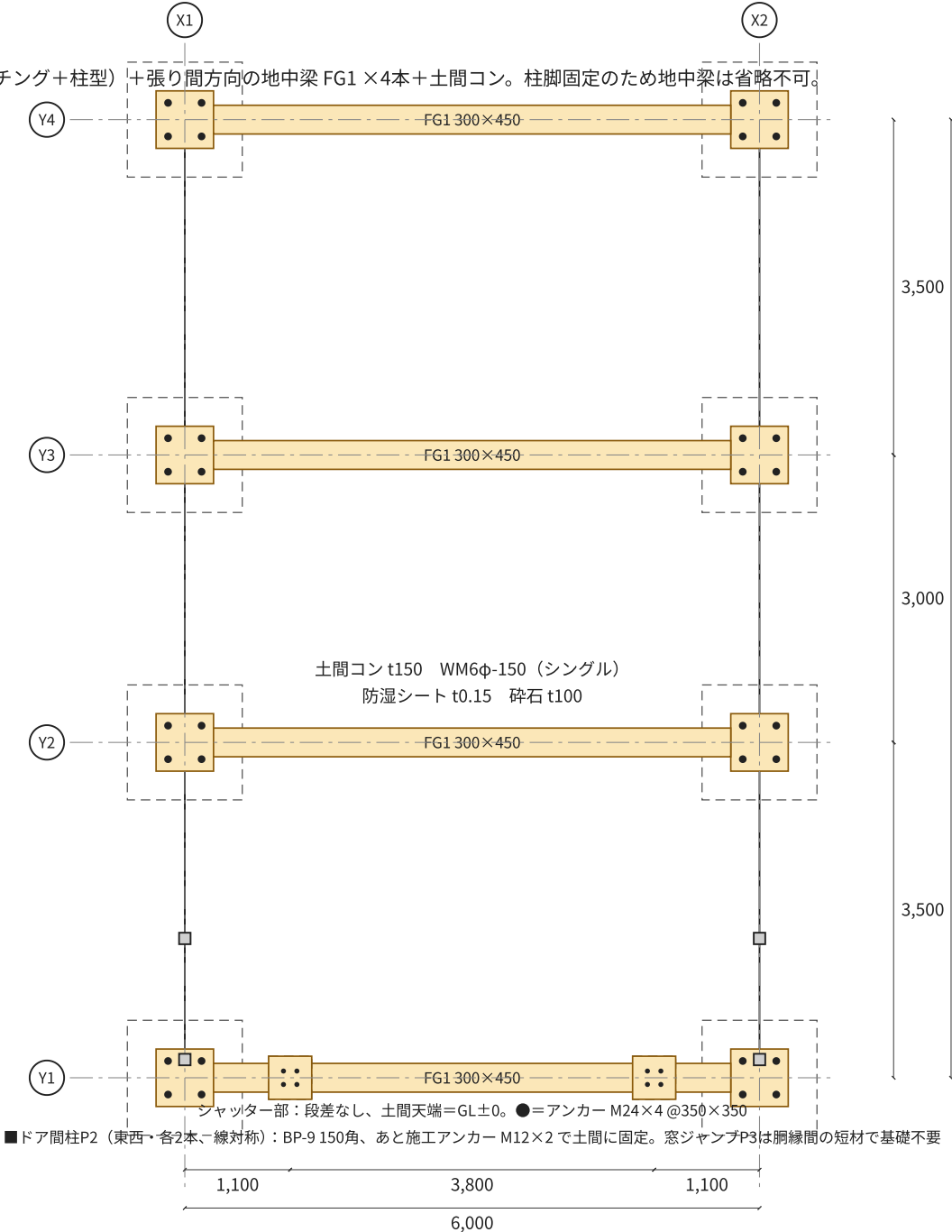
設備・電気（概要）

項目	仕様
引込	単相3線 100/200V（クレーン動力を考慮し200V回路を確保）
分電盤	主幹50A、分岐：照明・コンセント・シャッター・クレーン（予備）
照明	LED高天井灯 100W相当 ×4（勾配梁下）
コンセント	2口 ×4（各柱）、200V ×1
クレーン	KITO 電気チェーンブロック 490kg（後日）ペンダントスイッチ、ガーダ上にケーブルキャリア

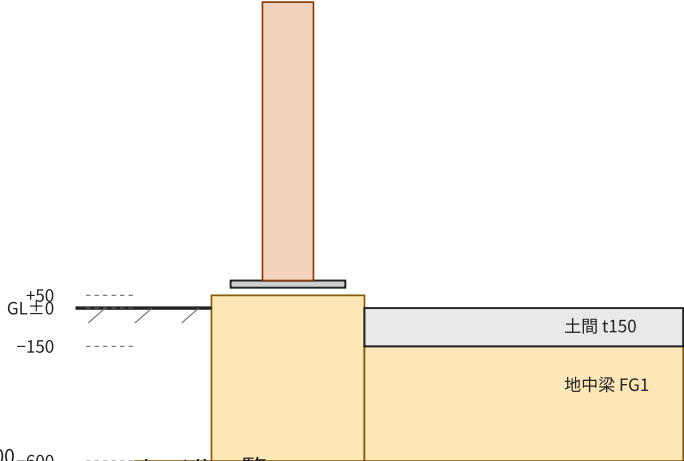
工事名	鉄骨造平屋倉庫 新築工事（江田島市）	
図面名	仕上表・建具表・設備概要	図面番号 A-06
縮尺	なし	2026.09.20施工計画案 最終版

基礎伏図

独立基礎（フーチング+柱型）+張り間方向の地中梁 FG1 ×4本+土間コン。柱脚固定のため地中梁は省略不可。



基礎断面 (X方向・地中梁部)



レベル一覧

- +50 柱型天端 (露出柱脚のBPはこの上にグラウト30を挟んで載る)
- GL±0 土間天端
- 150 土間下端/地中梁天端
- 600 柱型下端/フーチング天端/地中梁下端
- 1,000 フーチング下端 (砕石 t100 はさらに下)

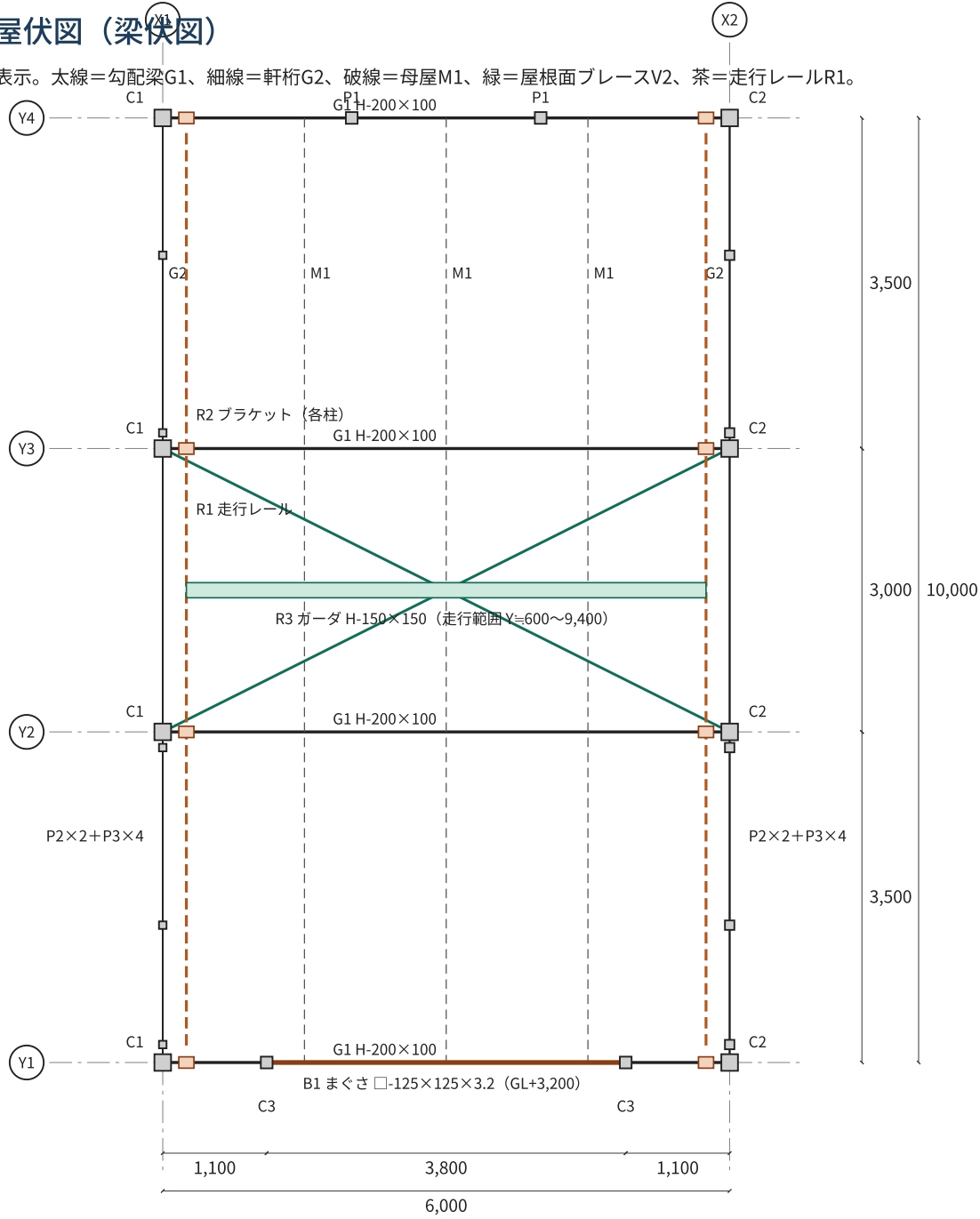
配筋

- フーチング：底筋 D13@200 タテヨコ、かぶり60
- 柱型：主筋 4-D16、帯筋 D10@100、かぶり40、天端GL+50
- アンカーボルト M24×4 (ABR400・定着板付・L=800) をテンプレートで固定
- 地中梁：上下 2-D16、あばら筋 D10@200
- 土間：WM6φ-150、コンクリート Fc21
- 方立柱フーチング：450角×D400、柱型450角 天端GL+50、アンカー-M16×

工事名	鉄骨造平屋倉庫 新築工事 (江田島市)	
図面名	基礎伏図・基礎断面	図面番号 S-01
縮尺	1:100 / 1:50	2026.09.20施工計画案 最終版

柱伏図・小屋伏図（梁伏図）

正面（Y1）を下に表示。太線＝勾配梁G1、細線＝軒桁G2、破線＝母屋M1、緑＝屋根面ブレースV2、茶＝走行レールR1。



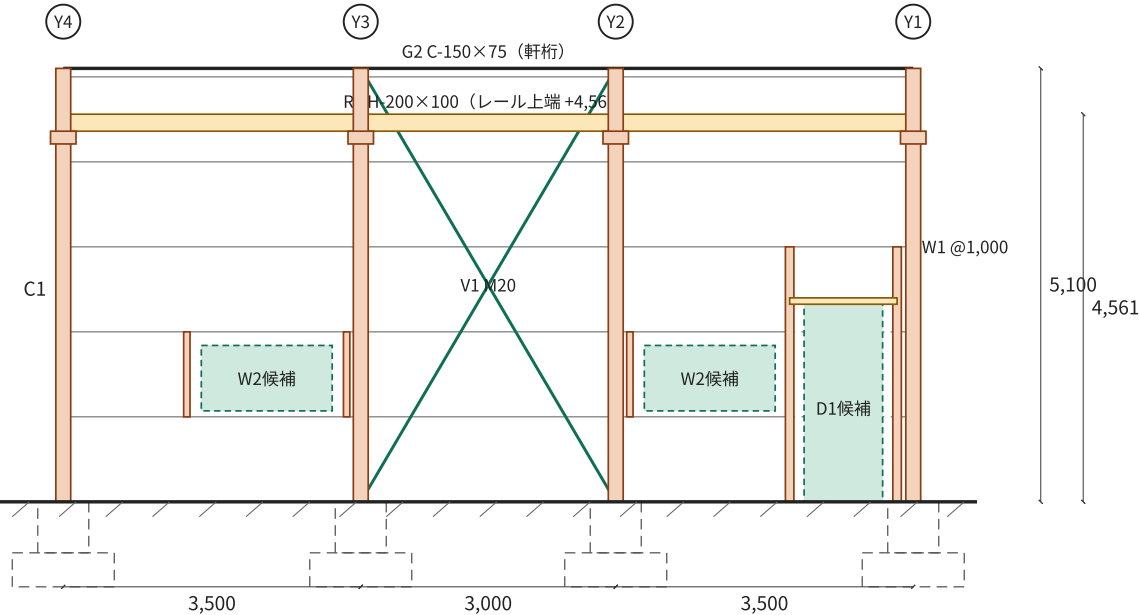
部材記号一覧

C1	柱 (X1)	□-200×200×6.0 BCR295 L=4,992 ×4
C2	柱 (X2)	□-200×200×6.0 BCR295 L=5,492 ×4
C3	方立柱	□-125×125×3.2 ×2
P1	背面間柱	□-125×125×3.2 ×2
G1	勾配梁	H-200×100×5.5×8 L=6,021 ×4 (太陽光対応)
G2	軒桁・端母屋	C-150×75×20×3.2 L=10,000 ×2
B1	まぐさ	□-125×125×3.2 L=3,800
M1	母屋 @1,500	C-100×50×20×2.3 ×3列
W1	胴縁 @1,000	C-100×50×20×2.3 (軸組図参照)
V1	壁ブレース	丸鋼 M20 TB付 ×4 (中央スパン)
V2	屋根面ブレース	丸鋼 M16 TB付 ×2 (中央スパン)
P2	ドア間柱 (東西・線対称)	□-100×100×3.2 ×4
P3	窓ジャンプ (東西・両端スパン)	□-100×100×3.2 ×8
B2	まぐさ (D1東・D1西)	□-125×125×3.2 ×2
R1	走行レール	H-200×100×5.5×8 L=10,000 ×2
R2	ブラケット	H-150×150×7×10 L=300 ×8
R3	ガーダ	H-150×150×7×10 L=5,500
R4	端台車	製作 ×2

工事名	鉄骨造平屋倉庫 新築工事（江田島市）	
図面名	柱伏図・小屋伏図	図面番号 S-02
縮尺	1:100	2026.09.20施工計画案 最終版

軸組図 (X1・X2通り)

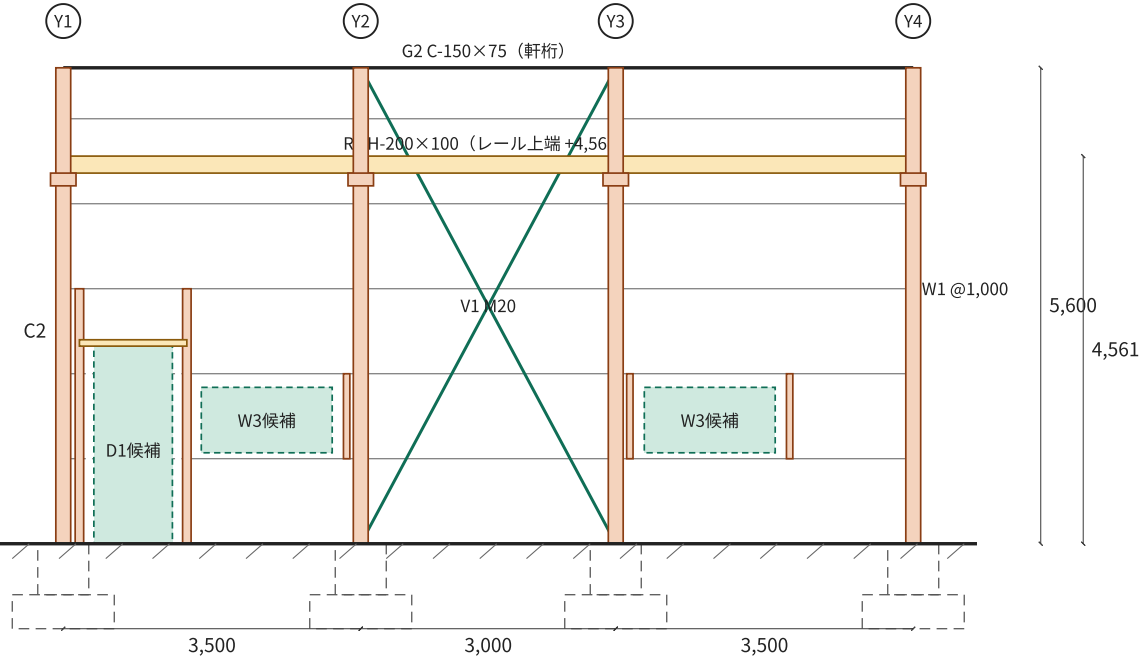
X1通り 軸組図 (西立面・軒高5,100) 外側から見る 左=北 (Y4) 右=南 (Y1・正面)



凡例

- ・橙=柱・ブラケット／ドア間柱P2 □-100 (GL~3,000・東西とも)／窓ジャンプP3 C-100
- ・緑=壁ブレース V1 M20 たすき (中央スパンのみ)
- ・薄線=胴縁 W1 @1,000。点線部 (ドア部・東西とも) は分割ピース
- ・黄=走行レール／ドアまぐさ B2 C-100 GL+2,400 (東西とも)
- ・水色破線=D1候補 (東西どちらか1箇所)・窓候補 (Y1~Y2かY3~Y4のどちらか1箇所ずつ)
- ・窓は胴縁1,000~2,000の間に納まる (胴縁の切欠きなし)
- ・ドア間柱の脚: BP-9 150角+あと施工アンカーM12x2 (土間)
- ・窓ジャンプは胴縁の受けピースにM12で留める短材 (基礎不要)

X2通り 軸組図 (東立面・軒高5,600) 外側から見る 左=南 (Y1・正面) 右=北 (Y4)

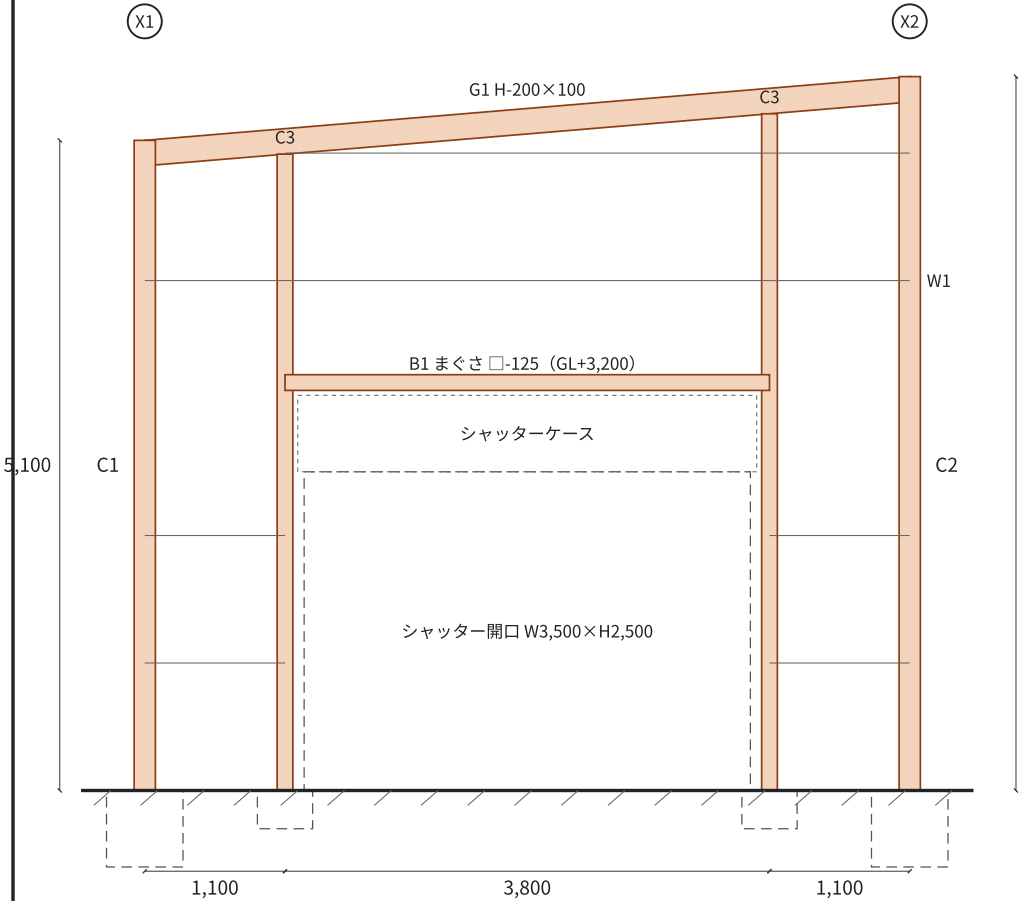


工事名	鉄骨造平屋倉庫 新築工事 (江田島市)	
図面名	軸組図 X1・X2通り	図面番号 S-03
縮尺	1:125	2026.09.20施工計画案 最終版

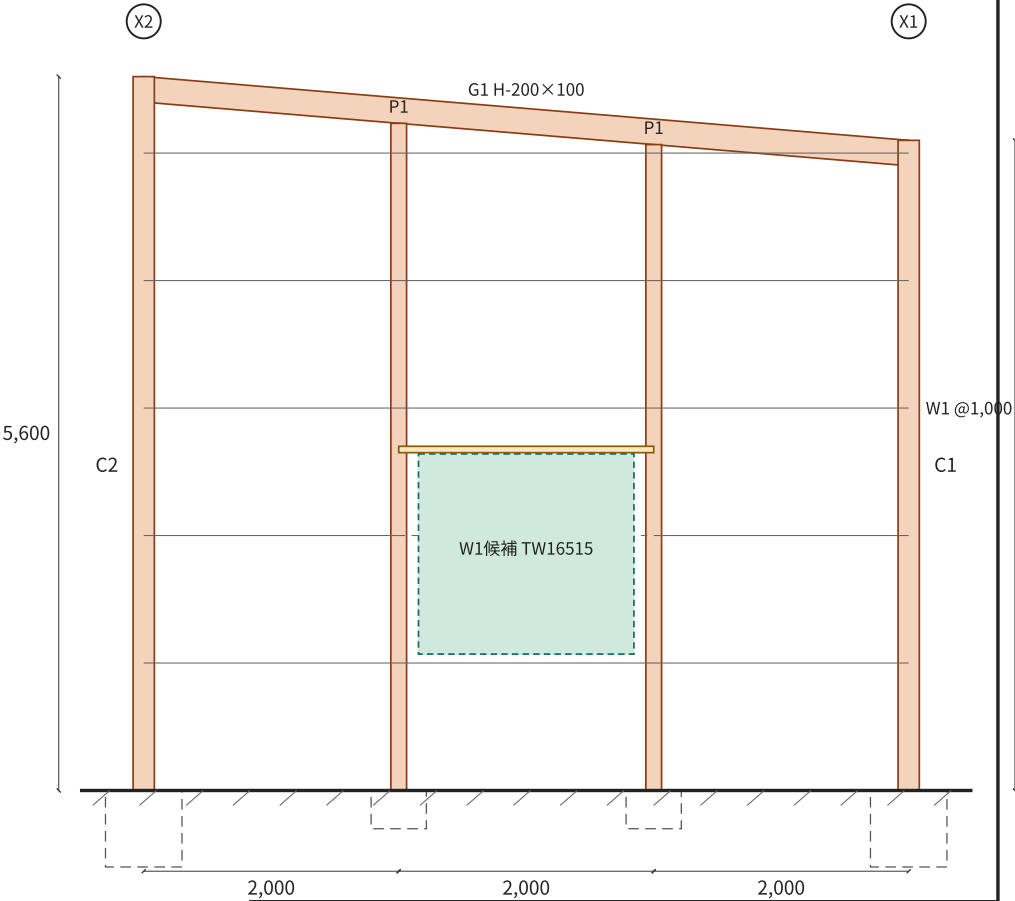
軸組図（Y1・Y4通り）

Y2・Y3通りは柱C1・C2+勾配梁G1のみ。背面の窓W1（後決め）は間柱P1（2,000／4,000）の間、窓台＝GL+1,000胴縁、まぐさB2 GL+2,700。GL+2,000の胴縁は点線部が分割ピース。

Y1通り 軸組図（正面） 外側から見る

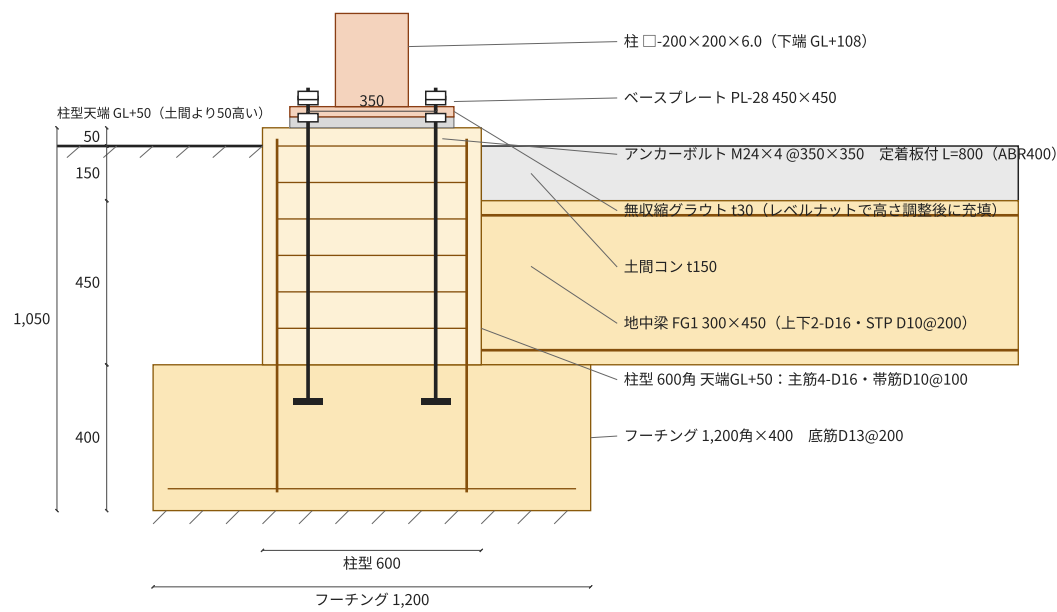


Y4通り 軸組図（背面） 外側から見る ※左右が反転



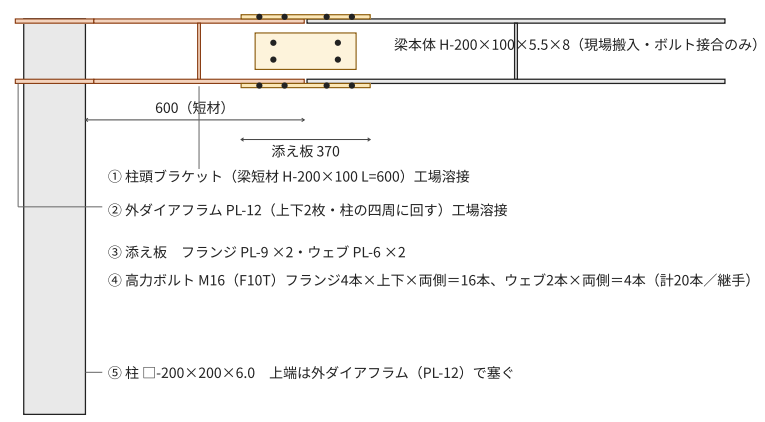
工事名	鉄骨造平屋倉庫 新築工事（江田島市）	
図面名	軸組図 Y1・Y4通り	図面番号 S-04
縮尺	1:85	2026.09.20施工計画案 最終版

柱脚詳細（露出形式（半固定）・地中梁付き）



※ 柱型・地中梁・フーチングを先に打ち、柱はボルト止めとグラウトのみ。後打グラウトは、

柱頭接合部詳細（ブラケット形式）



継手：添え板 フランジPL-9×2・ウェブPL-6×2
高力ボルト M16 F10T 20本／継手（孔径φ18）
外ダイアフラム PL-12 上下2枚（柱四周）
梁短材 L=600 は柱に工場溶接（完全溶込み）

方立柱・間柱の柱頭

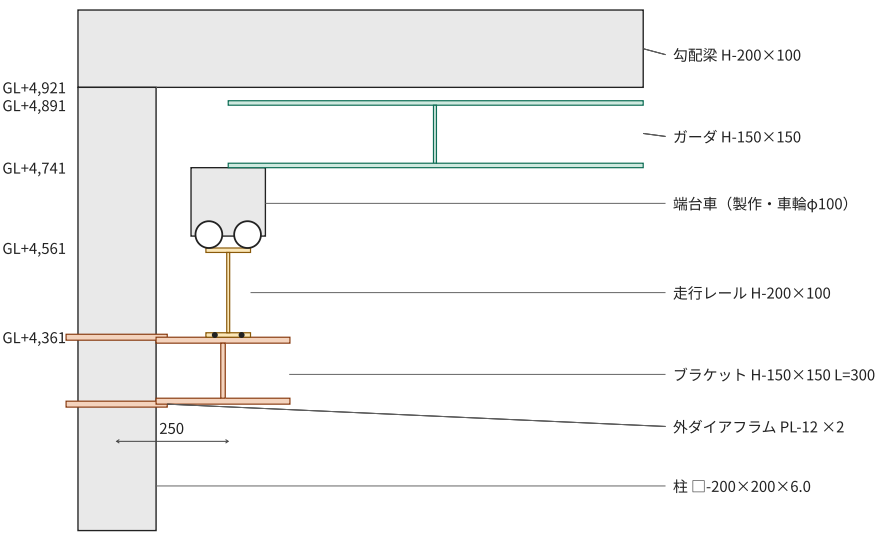
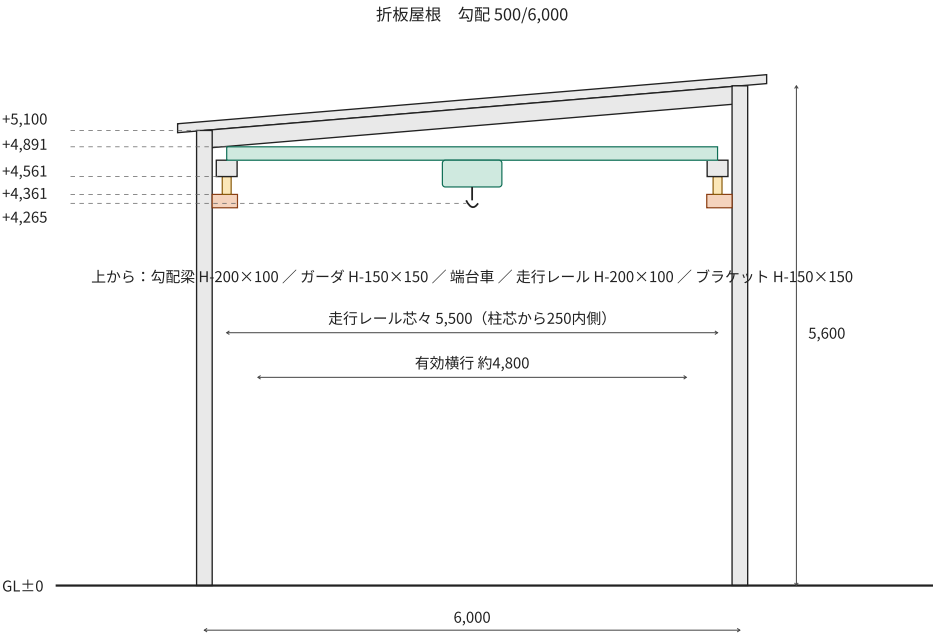
勾配梁下フランジにガセットPL-9+M16×2（ピン）

ブレース端部

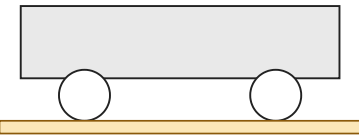
柱脚部：柱型天端より上の柱側面にガセットPL-9（M16ピン）
柱頭部：軒桁と共用のガセットにM16ピン
ターンバックルで張力調整（現場）

工事名	鉄骨造平屋倉庫 新築工事（江田島市）	
図面名	柱脚・柱頭接合部詳細	図面番号 S-05
縮尺	1:12	2026.09.20施主計画案 最終版

クレーン取合い断面・ブラケット詳細



端台車 R4 (製作品) ×2



- ・ フレーム：C-100×50×20×2.3 L=500 ×2+端板
- ・ 車輪：フランジ付φ100 (耐荷重300kg以上) ×2、軸φ20
- ・ ガーダ端部にM16×4でボルト接合
- ・ 走行は手押し (電動化は後日可)
- ・ レール両端・ガーダ両端にゴム付ストッパ

クレーン高さ関係 (GL基準)

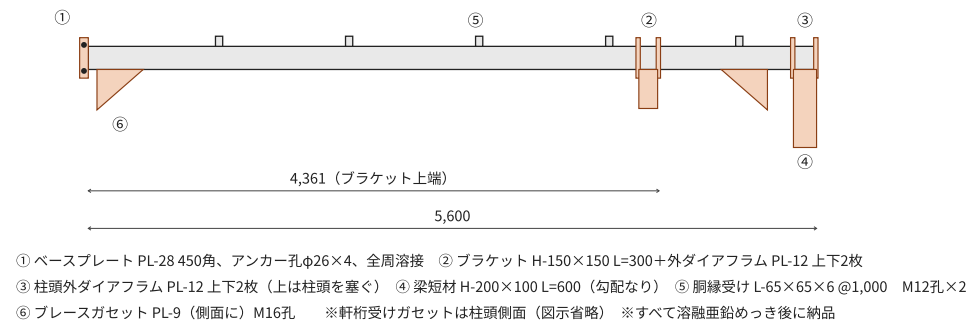
- ・ レール下端=ブラケット上端 +4,361
- ・ レール上端 +4,561 (H-200)
- ・ 端台車 180 → ガーダ下端 +4,741
- ・ ガーダ上端 +4,891 (梁下端+4,921に対し余裕30)
- ・ フック最高位 約+4,265 (ホイスト最低フック距離480)
- ・ 3,640パネル縦吊りに必要な+4,140に対し余裕150

クレーンの定格：490kg (つり上げ荷重0.5t未満、クレーン等安全規則 適用外)。ガーダ・レール・ブラケット・端台車は鉄骨と同時に製作。ホイスト本体 (KITO) は後日。

工事名	鉄骨造平屋倉庫 新築工事 (江田島市)	
図面名	クレーン詳細	図面番号 S-06
縮尺	1:100 / 1:12	2026.09.20施主計画案 最終版

部材製作ピース図（工場出荷時の状態）

柱 C2（□-200×200×6.0 L=5,600） 横倒し表示 上側＝外面（壁側） 下側＝内面（建物内側）



全部材：溶融亜鉛めっき HDZ55、孔あけ全数工場、部材符号打刻。柱は1構面分を工場仮組み。

勾配梁 G1 本体 H-200×100×5.5×8 L=4,821 ×4本（短材は柱に付いて出荷）

両端：継手用ボルト孔 φ18（フランジ4×上下、ウェブ2） 上面：母屋受け L-65×65×6 @1,500 ×3 下面：屋根面 プレースガセット PL-9（Y

軒桁 G2 C-150×75×20×3.2 L=10,000 ×2本

定尺一本物。柱位置4箇所 に M16孔×2。ガセットは柱側に付く。切断・溶接なし

母屋 M1・胴縁 W1 C-100×50×20×2.3

定尺切断（3,300／3,400／2,000等、製作図による）。両端 M12孔×2。受けベースは柱・梁側に付く。現場加工なし

ブレース V1（M16）・V2（M12） 丸鋼＋ターンバックル＋両端クレビス

長さは製作図で確定（ガセット孔芯々）。ターンバックルの調整代±50。両端クレビスをガセットにピン留めし、現場で張力を出す

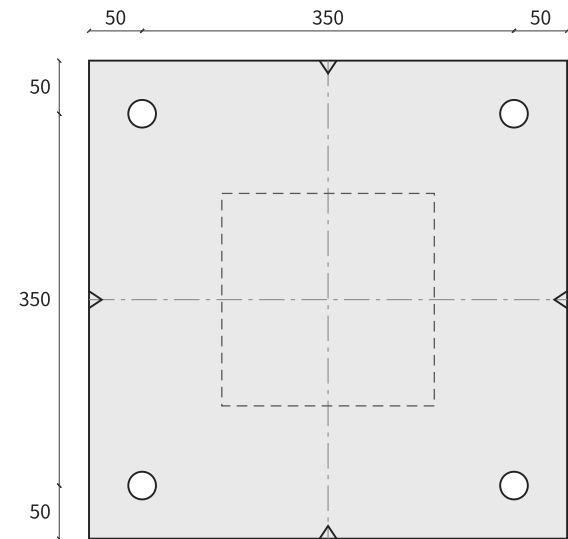
走行レール R1（H-200×100 L=10,000 工場溶接継ぎ）・ガーダ R3（H-150×150 L=5,500）・端台車 R4

レール：ブラケット位置4箇所 に M16孔×4、上面グラインダー仕上げ、両端ストッパ。ガーダ：両端に端台車取付孔、両端ストッパ。端台車

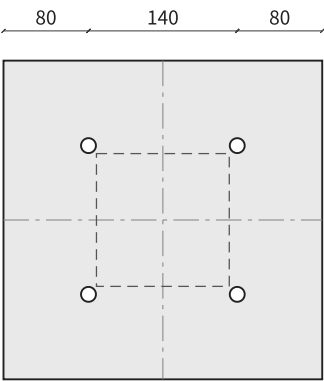
工事名	鉄骨造平屋倉庫 新築工事（江田島市）	
図面名	部材製作ピース図	図面番号 S-07
縮尺	1:60	2026.09.20施主計画案 最終版

アンカーテンプレート図

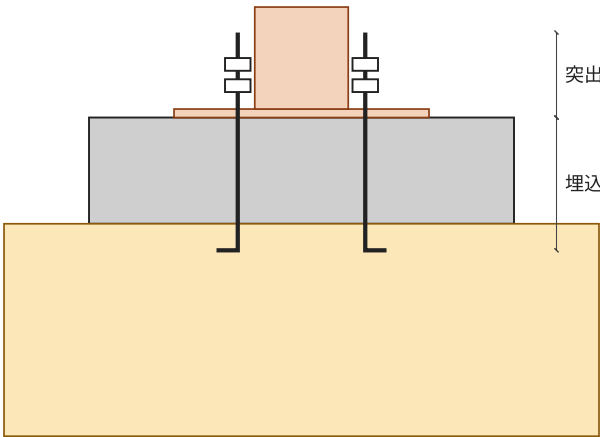
アンカーは建方時の仮固定用（本設の固定は柱型コンクリート）。位置精度±3mm。テンプレートは鉄工所製作、基礎打設時に型枠へ固定し打設後に外す。



テンプレートA（主柱用）×8 PL-6 450×450 孔φ26×4 @350×350（M24）
アンカーボルト断面（主柱・本設）
通り芯の位置（Vノッチ）を正確に確認し、破線（仮設）と一致の位置。BPと同じ孔位置。



テンプレートB（方立柱用）×2
PL-6 300×300 孔φ14×4 @140×140



M24 ABR400 L=800 定着板付（溶融亜鉛めっき）
BP下：レベルナット+座金で高さ調整、BP上：レベルナット+ロックナット
BP下端 GL+80（柱型天端+50+グラウト30）
定着板はフーチング内、柱型主筋と干渉しない位置に設置
施工手順
①フーチングを打つ（定着板付アンカーを底筋に結束して立てておく）
②柱型枠にテンプレートを固定（Vノッチを通り芯に合わせる）
③アンカーの垂直・高さを確認して柱型・地中梁を打設
④養生後テンプレートを外し、レベルナットをGL+80に合わせる
⑤柱を据えて本締め→建方→グラウト充填

柱芯座標（X1-Y1交点を原点）

柱符号	X (mm)	Y (mm)	テンプレ
C1-1	0	0	A
C1-2	0	3,500	A
C1-3	0	6,500	A
C1-4	0	10,000	A
C2-1	6,000	0	A
C2-2	6,000	3,500	A
C2-3	6,000	6,500	A
C2-4	6,000	10,000	A
C3-1	1,100	0	B
C3-2	4,900	0	B

柱型天端レベル：全柱 GL+50±5。BP下端 GL+80（レベルナットで±1mm）
方立柱：アンカーM16×4 @200×200、柱型450角天端GL+50。ドア間柱P2（東西）は土間打設後にあと施工。

工事名	鉄骨造平屋倉庫 新築工事（江田島市）	
図面名	仮アンカーボルト・テンプレート図	図面番号 08
縮尺	1:10 / 1:2	2026.09.20施主計画案 最終版